

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0929 NO34

校長 伊波喜一

最高の プレゼントかな 笑顔見せ 敬老の日に 思い伝えん

敬老の日を前にした15日、1年生の祖父母の皆様を招待しての「ふれあい給食」が1年1組・2組教室で行われた。当日に向けて、手作りの祖父母用ネームプレート・座席表・首飾りのプレゼントを用意し、歓迎の準備をした。別室で待つ20名の祖父母が気にかかるようで、子ども達はハイテンションで配膳の支度をしていた。保護者や上級生に手を引かれて入学してきたのは半年前である。給食の準備や片づけに時間がかかり、食べるのもゆっくりで、完食への道はまだまだ見通せなかった。それが今ではどうだろう！子ども達は上手に司会をし、てきぱきと給食を進めていく。緊張のためか最初は弾まなかったおしゃべりも、終わる頃には話が弾みすぎて時間が足りないくらいだった。祖父母には初めに自己紹介をしていただき、最後にふれあい給食の感想を話していただいた。「温かい心配りを感じ元気をいただいた。給食も本当に美味しかった」と。感謝する心は美しい。目には見えないが、それは必ず形に現れ、喜びが伝わる。子ども達の献身に、心洗われる一時を過ごした。